



# よくあるご質問

## 1. 応募条件について

Q. 言語レベルはどのくらいですか？

A. 通訳なので、日常生活に必要な程度の読み、書き、会話のレベルは最低限必要です。検定試験では2級程度を考えています。日本語の場合は日本語能力試験N2程度です。

Q. 医学の知識は必要ですか？

A. 専門的な知識は必要ありませんが、日本の中学校などで勉強する体の基本的な仕組みについての知識が必要です。専門的なことについては、登録後の研修などで学ぶ機会があります。もちろん、ご自身での研鑽も必要です。

Q. 医療通訳スタッフはどういう背景の方が多ですか？

A. 定年退職した方や、かつて海外での在住経験がある方などが多く、割合としては女性が多いです。

Q. 住んでいるところが、研修や活動場所から遠いのですが、応募できますか？

A. 神奈川県内の協定医療機関で通訳活動を行うことができ、かつ、横浜近辺で行われる年3回の研修や言語別勉強会（主に土曜日）に出席することができる方であれば、県外にお住まいでもご応募いただけます。

Q. 医療通訳の資格は取得できますか？

A. 公的資格ではありません。実際にボランティア活動にご参加くださる方を募集しています。資格授与を目的とはしていませんので、ご了承ください。

## 2. 研修について

Q. 研修に参加はしないで見学だけしたいのですが、可能ですか？

A. 一律にお断りしています。どうぞご了承ください。

Q. 自己研鑽の場として医療通訳に興味はありますが、ボランティア活動はできません。

研修だけ参加してボランティアの登録をしないことはできますか？

A. 一律にお断りしています。どうぞご了承ください。

自己研鑽の機会として、M I Cかながわでは英語・中国語・スペイン語の公開講座を提供しています。ぜひ、その公開講座にご参加ください。公開講座の情報はM I Cかながわホームページをご覧ください。また、現在は医療通訳養成講座を開講している語学学校はかなりあるようです。

Q. 後半2日間の「言語別シミュレーション（模擬演習）」の内容を教えてください。

A. 日本語の医師役、外国語を母語とする患者役の間で、実際に通訳を体験しながら医療通訳技術を習得していただきます。

Q. 2つの言語で応募したいのですが、可能ですか？

A. 応募できるのは1つだけです。理由は、演習は同じ日に言語別に行われるため、2つの言語で演習を受けることが不可能だからです。どうぞご了承ください。

### 3. 選考評価について

Q. 事前選考(面接)はどのような内容ですか？

A. 簡単な日常会話でレベルを評価します。専門的な医療用語はありませんが、一般的に使われているような医療用語を多少含む内容となっています。内容についての細かいお問い合わせはご遠慮ください。

Q. 筆記試験はありますか？

A. 座学で学んだことに関する簡単な振り返りの筆記試験を行います。

Q. 選考の方法は？

A. 4日間の受講状況、最終日に行う個人別のシミュレーションの結果、特に、実際ボランティア活動に参加していただけるかどうかを重視します。現時点の語学力の高さによる評価だけでなく、将来性も考慮し、より総合的に判断させていただきます。

### 4. 受講料について

Q. なぜ言語によって費用が違うのですか？

A. 人材が非常に不足している言語については、応募していただきやすいように、MICかながわが受講料の一部を補助することとしました。

### 5. 活動について

Q. 通訳依頼は定期的にあるのですか？ 実際の派遣頻度はどのくらいですか？

A. 医療機関からの依頼に基づき、その都度調整します。言語、性別、病気の内容、お住まいの地域によって、いろいろです。

Q. 通訳依頼の電話を受けたら、必ず通訳に行かなければならないのでしょうか？

A. 通訳コーディネーターからの打診時に、ご都合がつかなければ断ることができます。ただし、理由なく派遣にに応じていただけない場合は、翌年度の登録更新をお断りすることもあります。

以上

MICかながわの活動実績についてはホームページをご覧ください。

また、MICかながわでは会員を募集中です。

その他、twitterやfacebookでも随時情報を提供しています。

ぜひフォローしてください。

twitterのアカウント： @MIC\_Kanagawa

facebookのページ： [www.facebook.com/Mickanagawa](http://www.facebook.com/Mickanagawa)